

名古屋大学エコトピア科学講演会

**102 プロジェクトワークショップ**  
**「生物多様性・生態系と経済・政策研究へのアプローチ」**

**<開催趣旨>**

エコトピア科学研究所では、エコトピア指標の開発を通じて、科学技術や社会・システムの評価を行う研究を推進している。エコトピア指標の環境負荷評価の要素には、土地・生態系・生物多様性の要素を含む手法論の構築を目指して研究している。生物多様性条約 COP10 の名古屋誘致が決定され、開催まで残すところ後 1 年半となっている。近年、さまざまな学問分野にとどまらず、企業、市民の間においても生物多様性・生態系への関心が高まる中、一方で、その概念が抽象的であるが故に、必ずしも理解や対応が進んでいるとは言えない。本ワークショップでは、特に生物多様性・生態系の経済・政策の観点に焦点を当てた議論を通じて、生物多様性・生態系の経済・政策分析に関するワークショップを開催する。

**<詳細>**

日時：2009 年 5 月 14 日（木）13：00-15：00

場所：名古屋大学共同教育研究施設 2 号館 801 会議室

主催：名古屋大学エコトピア科学研究所 102 プロジェクト

言語：日本語（話題提供 1 のみ英語での講演）

参加費：無料

**<プログラム>**

司会：名古屋大学エコトピア科学研究所 林希一郎教授

13:00-13:10 挨拶

**名古屋大学エコトピア科学研究所 副所長片山新太教授**

13:10-13:25 インTRODakシヨン

**名古屋大学エコトピア科学研究所 林希一郎教授**

「生物多様性と経済・政策分析の新しい展開」

13:25-14:05 話題提供 1 と質疑

**University of Illinois at Chicago Eric W. Welch 准教授**

Department of Public Administration

「Access and Use Patterns of Non-Plant Genetic Materials for Food and Agriculture (GRFA) in the US: A Multidisciplinary Approach for Research and Policy」(英語での講演となります)

14:05-14:45 話題提供 2 と質疑

**国立環境研究所社会環境システム研究領域環境経済政策研究室 日引聡室長**

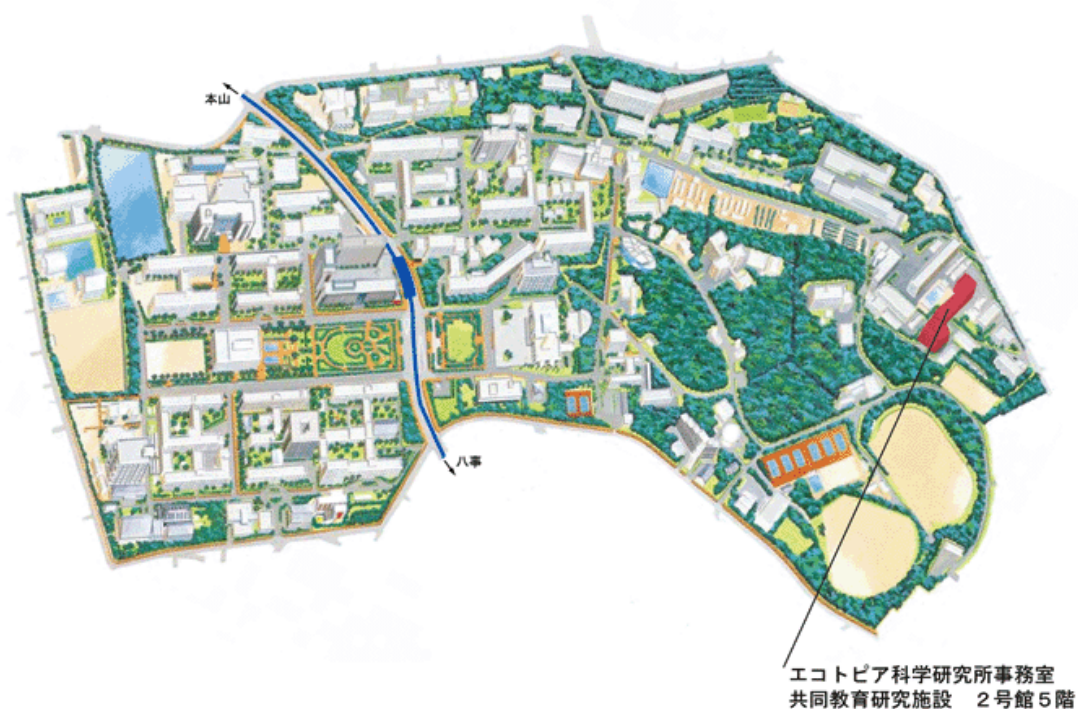
「生物多様性保全のための土地利用制限と環境保全費用の負担：譲渡性開発権制度 (TDR)の適用」

14:45-15:00 総合討論とまとめ

<交通>

名古屋市営地下鉄名城線名古屋大学駅徒歩 15 分（東山キャンパス内）

<http://www.esi.nagoya-u.ac.jp/access/index.html>



参加ご希望の方は以下の連絡先まで 5 月 11 日(月)までに **e-mail** でお申し込みください。

申込先：名古屋大学エクトピア科学研究所 林研究室、担当：伊東英幸

E-mail：itohideyuki(at)esi.nagoya-u.ac.jp

(at)に@入れてください。

名古屋大学エクトピア科学研究所

<http://www.esi.nagoya-u.ac.jp/>